

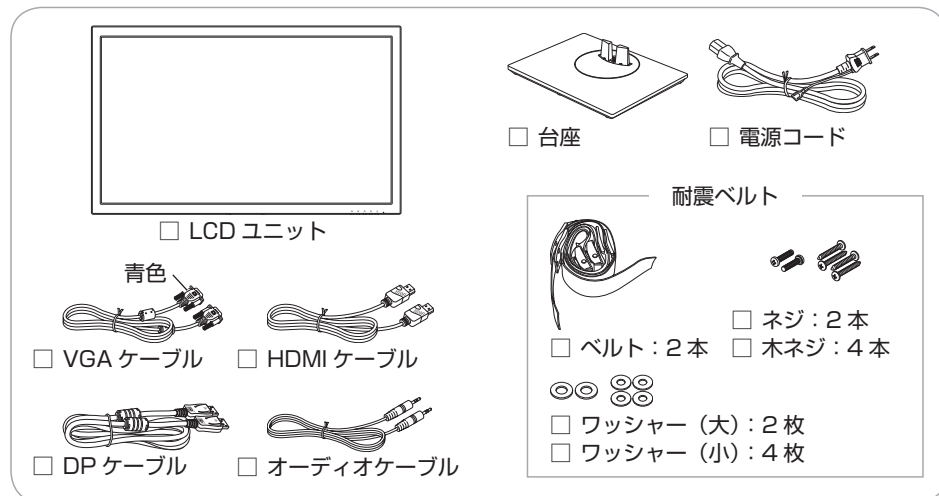
27 型ワイド液晶ディスプレイ LD27W81L

取扱説明書（設置編）

C80444000 Printed in China

1 梱包品を確認する

本機には次の梱包品があります。万一、梱包品に不足がありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは [別紙](#) 『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

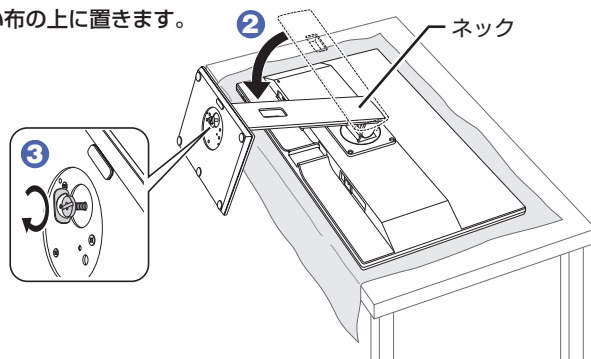


2 コンピューターと接続する

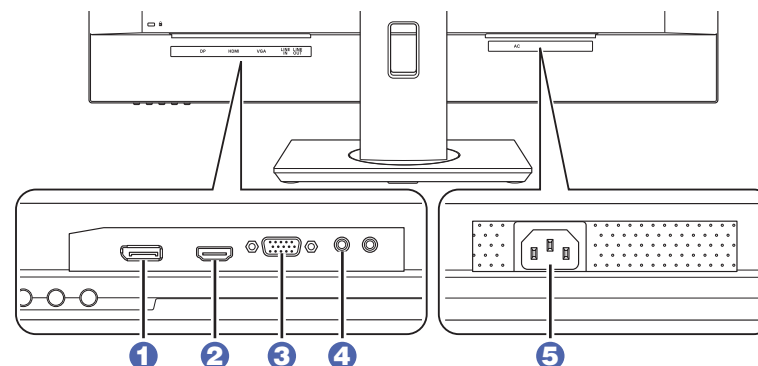
ディスプレイを設置し、コンピューターと接続して、使用できる状態にする手順を説明します。接続するコンピューターのマニュアルもあわせてご覧ください。

1 LCD ユニートを台座にセットします。

- 1 液晶面を下にして、薄い布の上に置きます。
- 2 ネックを 90° 回します。
- 3 台座をネジ留めします。



2 ケーブルを接続します。



画像入力 ① ディスプレイポート (DP) ② HDMI コネクタ ③ VGA コネクタ
いずれかのケーブル (1 本) で、コンピューターのコネクタと接続します。
電源連動機能を使用する場合は、HDMI 接続してください。
※ DP ケーブルを抜くときは、ラッチを押しながら引き抜いてください。

音声入力 ④ ライン入力コネクタ
オーディオケーブルで、コンピューターのライン出力コネクタと接続します。
※ HDMI/DP 接続時は不要

電源 ⑤ 電源コネクタ
同梱の電源コードで、電源コンセントと接続します。
※ 電源プラグを差し込む前に必ず接地 (アース) してください。

3 本機を起こして置き、必要に応じて高さなどを調節します。

高さ調節は、画面の両側を持ち、上下させてお好みの位置で止めてください。
角度調節 (前後左右)、ピボット機能 (90° 回転)、耐震ベルトの装着方法については、『取扱説明書 (操作編)』 (PDF) をご覧ください。
※ 本機を移動するときは、必ず高さを一番上にしてください。
※ 画面を回転するときは、必ず高さを一番上にし、後ろに 20° 倒してから行ってください。

4 右下面の電源スイッチ () を押して電源を入れます。

コンピューターの電源を入れると、画面が表示されます。



3 『取扱説明書 (操作編)』 (PDF) を確認する

『取扱説明書 (操作編)』は PDF で提供しています。インターネットに接続してご覧ください。
<http://www.epsondirect.co.jp/download/manual/c80445000.pdf>




4 安全にお使いいただくために




マニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。修理受付窓口への連絡方法は、別紙「サポート・サービスのご案内」をご覧ください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

● 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。		電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。		

警告

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。



- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差ししたままにしない。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。

家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。



本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、本機の電源コードは、他の製品に使用しないでください。感電・火災の原因となります。



本機の分解や改造はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。



破損した電源コード、ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因となります。電源コードやケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードやケーブルを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードやケーブルの上に重い物を載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードやケーブルを束ねた状態で使用しない。

電源コードやケーブルが破損したら、修理受付窓口までご連絡ください。



本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理受付窓口までご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。



水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。

万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理受付窓口までご連絡ください。



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。また、本機の周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。接地しないで使用すると、感電の危険があります。

アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。火災の原因となります。



アース端子は、コンセントに挿入または接触させないでください。感電・火災の危険があります。

注意



小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。感電・火災の原因となります。



ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしてください。配線を誤ると、火災の原因となります。



本機の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。設置する際は、次の点を守ってください。

- 押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



交流 100V 以外の電源は使用しないでください。交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。



液晶ディスプレイが破損して内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、触ったりしないでください。火傷や化学物質による被害の原因となります。万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は、流水で十分に洗い、医師に相談してください。



本機を移動する場合は、電源を切り、すべての配線を取り外してください。ケーブルなどが破損し、火災・感電の原因となります。また、ケーブルなどが引っかかり、けがの原因となります。



連休や旅行などで本機を長期間で使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



表面のガラスが破損した場合は、破損した部分を触らないでください。けがをするおそれがあります。